

秋ノ一裏

ふるさといかゝなりぬらんありし娘〈むすめ〉も

さすかこゝろにかゝりてその門〈かど〉をすぐ

とて見入ければ此児〈ちご〉六七歳〈さい〉ばかりに

てたてじとみのもとにつちあそび

してたてるをつく／＼とあはれにみ

るほとにこじき法師〈ほうし〉のみるがおそろ

しやとてうちへにげ入にけり妻子〈さいし〉

珍寶〈ちんぼう〉もと思ひてすぎにけり伊勢〈いせ〉

に侍りしを寂蓮入道〈じやくれんにうだう〉のもとへ申つか